

科目	単位 (時間数)	開校時期	講師名 (職名) (時間数)		
※ 助産技術演習	1 (30)	1 学期	① 教員 (助産師) (22)	② 院内講師 (助産師) (4)	③ 院外講師 (助産師) (4)
目標					
助産の実践に必要な分娩介助技術を修得できる。					
回	時間	項目	授業内容	授業方法	講師
1	2	分娩介助技術の基本	1) 分娩の準備 ・分娩室の環境、器材準備 ・手指消毒・ガウンテクニック (試験)	演習	①
2	2				
3	2		2) 分娩体位の調整 ・産婦の準備 (分娩体位) ・外陰部の消毒と清潔野の作成	演習	
4	2		3) 分娩介助技術 (分娩機転と介助法) ・内診 (内診学習プログラム 第2段階) ・肛門保護、人工破膜、会陰保護 ・胎児娩出介助 ・出生直後の児のケア アプガースコア判定	演習	
5	2			演習	
6	2			演習	
7	2	(ファントム演習)	1) 模型演習 1 (グループ演習)	演習	
8	2		2) 模型演習 2 (グループ演習)	演習	
9	2		3) 模型演習 3 (グループ演習) 中間チェック	演習	
10	2		4) 模型演習 4 (グループ演習)	演習	
11	3		5) 京都医療センター 分娩介助手順 6) 間接介助の役割、直接介助者との連携 7) 胎盤精査と計測、出血量計測	講義 演習	②
12	2	分娩介助技術 (応用)	1) 分娩介助技術 さまざまな分娩体位と介助法 ①フリースタイル分娩	講義 演習	③
13	2	異常分娩の介助技術	2) 異常分娩の助産 ②急速遂娩の診断と介助 (演習) 吸引分娩の適応・要約・条件 介助法	演習	
14	2		③双胎の経膈分娩介助	講義 演習	①
15	1	分娩介助技術試験 (ファントム試験) (45 分)			②
授業形態	講義、演習				

評価方法 点数配分	<ul style="list-style-type: none"> ・手指消毒・ガウンテクニック試験に合格した上でファントム演習に臨むこと。 ・分娩介助技術試験 100点 (講師①②) 履修規程第5条、第6条に定めるとおりとする。
テキスト	講師① <ul style="list-style-type: none"> ・「分娩の介助技術」印刷テキスト ・分娩介助学 ・写真でわかる助産技術アドバンス 講師② <ul style="list-style-type: none"> ・助産学講座7 講師③ <ul style="list-style-type: none"> ・助産学講座7 ・助産師基礎教育テキスト7 ・分娩介助学 講師④ <ul style="list-style-type: none"> ・硬膜外無痛分娩
参考図書等	<ul style="list-style-type: none"> ・マタニティ診断ガイドブック ・産婦人科診療ガイドライン 産科編
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「助産学実習Ⅱ分娩期」における分娩介助の実施は、本科目の単位修得を前提とする。 (履修規程第4条2) 助産専攻科の先修条件参照 ※この科目は実務経験のある教員による授業科目である